こびとのおうちえんLetter 5月号

平成30(2018)年5月2日発行　第89号

マラソンにみとの姿がある。みとは去年母と1度だけ走ってそれ以来。みとの心がうごいた。そして、びっくりするくらいはやくかえってきた。その走りの負けずにうたれた。晴れやかだった。いつきが虫とりさんぽについてきた。あみをかすとトンボをはじめてつかまえた。手にもってみる。興奮してるのが全身からかんじられる。うれしかったねぇ。いつきの中でも、いろんな動きがはじまった。やるときのタイミングがある。だれにも決められない。名々の心がうごいた時がその時。だからこそその瞬間に立ちあうときの感動もたまらない。いろどりあざやかな季節。子どもたちの姿もまたあざやかる

「真剣に　ゆるやかに」

この1ケ月、私が心がけていたのは、よりていねいにやりたい。「もう少し待つ」や「やわらかく言う」を意識しなおす。ということだった。

きっかけは、4月のはじめのスタッフでのふりかえりの時間だった。なんだか、ひかるが心の中に思っていることが出せていないと感じ、それが気になっていたので、「言いたいことがある人じゃないか？」ときいてみた。「細かいことを言えばいくらでもある。」と返事が返ってきた。話をゆっくりきいた。夜8:00をまわっていた。

その中で、「こどもをちぢこませている」と感じるという話が出た。私がおそれていることだし、いつも私自身の課題に思っていることでもある。だから、とてもショックだなあと思ったし、納得できる話でもあった。もちろん今まで私とこどもたちの中で、一緒にすごしながら、関係をつくりながら、越えていける部分もあったと思うのだけど。

まだ、はじまったばかり。新しい子にとっては、ここがどんなところなのか？どんな大人がいるのか？どんなふうにすごすのか？たくさんのことをいっぺんに体験していっている。私たちもまだ、この子たちのことを深く知っているわけではない。子どもたちどうしもそう。時間をかけてゆっくりとわかっていくことだ。その上でどんなふうな関わりがしたいのか？を自身に問うていく。ちょっといつも急ぎすぎてしまうようだ。

それから少し、心の居方を変えてみた。すると、「あー、そうだー。」と、こんな感じでいい、こんな感じがいいと思える毎日になった。それは、私にとって心おだやかで、それが、自身のコンディションを整えることにもつながった。

私は、この仕事の専門性は、技術ではなく、自分を正直に出し、まずぐに相手にも自分にもむきあうことだと思っている。そしてそのためには、自分のコンディションを整える必要がある。体もココロも元気じゃないとやれない仕事だ。

そうはいっても、元気じゃない時もあるし、イライラすることもある。失敗もよくする。そして、せっかく作ってきた関係がこわれたじゃん。と思って自分にがっかりすることや、自分の行動やことばに苦しむこともある。こどもたちを傷つけないように、と思っても、そうしてしまっていることもあるだろう。

完璧ではない。そのことに甘んじるつもりはないけど、だからこそ、真剣に毎日を送りたい。ゆるやかに。たくさん、体、ココロを使って。感じて。

宮野　嘉子

おたんじょうびおめでとう!!

7日　みゆきつむぎちゃん（6さい）

17日　やまもとあらたくん（5さい）

お母さんグループのおしらせ

「お母さん」は、休みなし。でも、時々「私」自身にもどる時間も必要です。「話す」こと、「聴く」ことで、ふとした気づきが生まれたり、少し楽になったり…。

問題解決や心悩みの除去にとらわれずに、ていねいに自分に触れる時間。そんな時間をご一緒できたらと思います。

聴き合うグループを軸に、時には体験学習を交じえながら、月1回行っています。ぜひ、ご参加下さいね。

今月は、5/23(水) 13:00～15:00

場所：大野地区老人作業所

内容：「フィーリングループ」おうちえんで大切にしている関わり方①」

※参加したい方は、前にご連絡下さい。当日でもOKです。

ーお願いー

- 暑くなってきました。ぼうしを必ずもたせて下さい。
- 洋服、くつ等体に合ったものをもたせて下さい。（活動しやすいようにご協力下さい。）
- そろそろ、サンダルもあると便利です。
- もちものには、すべて名前の記入をして下さいね。

＝スペシャルタイム＝

新年度がはじまって1ケ月。ここらでちょっとひと呼吸。ふだんお子さんのことについて気になっていること、心配におもうこと、また親御さん自身の中で今感じている気もちなど、よっこに気軽にお話していただけたらうれしいです。5月中は、あっおさんも、ご一緒します。

日程　5/16(水)～6/8(金)

時間　15:10～15:40（1日1組）

※その間、お子さんはスタッフが見ています。ご希望の日をおしらせ下さい。日程、時間が合わない方は、ご相談下さい。

★おしらせ★

4月いっぱいで、ゆうぴーの補助、せりちゃんのキッチン終了しました。2人とも、ありがとうございました!!　5月より、浴洋子さんのキッチンスタートします。よろしくお願いします。

5月のスタッフプラン

- のいちごつみ
- マテ貝ほり（5/17(月)PM～）

29日(火)おべんとうのひ

※おべんとうの準備をお願いします。

＿＿＿＿＿の様子をおしらせします。

4月はこんなことしました

- 川であそぶ
- まりふの矢であそぶ
- みんなでさんぽ
- 竹のこほり（皮むき、ゆがく）
- 穴ほり（ドロンコ温泉）
- 鼓ケ浦であそぶ
- ギターをひく
- おばけごっこ
- とんぼ・ちょうちょとり
- 身長測定
- イタどりとり
- いもほりとり
- 大きな紙におえかき
- ダンス
- 水ぐるぽう
- お花つみ
- にわとりごっこ
- きのぼり
- 木工作　etc...

よっこのちょこっと　おうちえん日誌　～日々のあれこれ～

かんせいが朝、母との別れぎわ泣いた。話をきこうとしたけど、泣くのが止まらずしばらくは、だまって抱いていた。

いこうに止まらないし、言いたいこともありそうなので、場所を変えてかんせいの指さした公園のブランコのところにいった。ブランコにおわり、抱いたまま、ゆっくりゆれた。

かんせいに「お母さん何か言った？」ときいたらうなづく。

か「おうちえんいきなさいって言った。」

よ「きもちは？」

か「かなしかった――」

よ「そうか、かなしかった。だから、かんせいは泣いてるんやな。そうか、それは悲しかったなあ。」

よ「かんせいは、今日は行きたくなかった？」

か　うなづく

よ「そうか、今日は行きたくなかったんやな。いやだったなあ。」

だんだん涙が止まっていく。おちついていく。ブランコでゆらゆらゆれた。

ことばですべての表現ができるはずはない。それでも、何か感じている今のきもちに自分自身が触れ、それを出すことが、そして、それをわかろうとする人がいることがかんせいの中のきもちを1つおいやる、前に行くことにつながる。涙が止んでおちついたかんせいを見て感じた。かんせいはその後、おたまじゃくしの飼育箱をピカピカにみがいて元気にはりきっていた。

「どうして行きたくないか？」は重要ではない。ただ、今のきもちにふれること、情趣の共有が大切。

行っておいで！と送り出してくれたあやのちゃんにはありがとう。（4/11）

M.M.やりたいことを1人づつ話すとき、「○○と○○したい。」「○○と～」と言ってる多々かった。

ともや「つむぎと～」と言ったあと、「つむぎてだれ？」

みんな爆笑。（4/6）

あさ、げんかんを入ってきたかおる

「ただいま～」　♡♡おかえり♡♡（4/19）